

特別編 被災直後にやること特集

今回の非常食情報は特別編として過去に掲載したマンガを厳選して掲載いたします。

トルコとシリアで発生した大きな地震では多くの人が被災し、十分な支援が受けられないでいます。被災直後はどんな状況になるのか、事前にどんな備えをすればいいのかおさらいしてみましょう。



電子書籍『早わかり防災マニュアル2』
日本出版制作センターから好評発売中！

- 電子書籍 Kindle 版
- 定価：990円（税込）
- Amazon で発売中！

日本出版制作センターの書籍販売サイト
もどうぞご利用ください！
<https://www.center-net.jp/sales>

証拠写真を撮っておこう

もし災害に遭って被害を受けてしまったら片付けの前に写真撮影をしておきましょう

えー！そんなの不謹慎じゃん！！

記念撮影ではありません 罹災証明や保険請求のための証拠写真として撮っておくのです

あつ なんだ なるほどー 被害を証明するために写真を撮るのね

撮影するときのポイントは「被害を受けた家や家財の全体」と「損傷した部分」の2つを撮っておくことです

スマホがあれば被災直後でも鮮明な写真がたくさん撮れるね

全体 部分

災害時無料 Wi-Fi

災害時には無料で誰でも使えるWi-Fiが開放されます

それが 00000JAPAN (ファイブゼロジャパン) です！

どのキャリアと契約していても使えるので覚えておきましょう

知らなかったーいつからあるの？

東日本大震災や広島土砂災害でもフリーWi-Fiの設置はありました

実際の災害で初めて運用されたのは2016年の熊本地震です地震発生から72時間以内に使用できるようになりました

しかしセキュリティ面で不安があります 通信内容を他人に見られたり偽のアクセスポイントができてきたり

便利ですができるだけ個人情報を入力するのとは避けたいほうがいいですね

悪い人は色んなこと考えるんだねー

72時間が勝負

災害発生から72時間が人命救助のタイムリミットだと言われます

「72時間の壁」とか「黄金の72時間」ってよく聞かよね

人間が水なしで生存できるのが3日間だからです

自分ががれきや土砂に埋もれたら……って考えると一刻も早く助けてほしいよね

災害時にむりに帰宅せず会社に3日分の食料を備蓄して留まるよう呼びかけて

いるのは、救助のための緊急車両を優先的に通すためでもあるんですよ

自分のための備蓄は誰かのためでもあるんだ

停電になったら

停電になったら冷蔵庫の中身はどうすればいいの？

半日程度で終わらそうなら閉めたままでOKです

それ以上続くようなら早めに食べてしまいましょう

水が使えれば野菜も食べられるわね

でも暗いところで料理できるかしら……

危険なときは無理せず缶詰やレトルトの非常食に頼って下さいね！

帰宅難民になったら

帰宅難民になった時のために何か食べるものを通勤バッグに入れておこうかな……

チョコレートなんかコスパ高いですよー

自宅に何時間も歩いて帰るのはキケン

でもね 電車が止まって帰れなくなったら まず会社で待機が原則です

だから会社での備蓄を充実させた方がいいですね

移動中だったら？

近くの避難所へ一時滞在して下さい

家族のこと心配ですが災害用伝言ダイヤルなどの連絡手段を決めておいてね

地震が来たら？

机の下に避難！

地震が来たら

すぐに火を消す！

……とよく言われますが

優先すべきはあくまで身を守ることです

机の下が安全じゃないかもしれないし火はあとからでも消せます

でも昔から「地震だ 火を消せ」って……

大きな揺れになると鍋の中身などがこぼれることもあって危険なんです